



9月1日は「防災の日」

台風、地震などの災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するため制定された「防災の日」。

「正しい避難行動」について確認し、いざというときに備えましょう！

避難の際には、
食料・飲料水・薬
などを忘れずに！



地震の場合

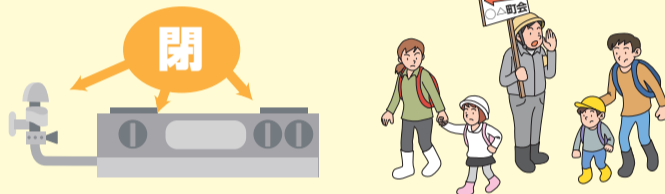
- 最初に自分の身を守り、揺れが収まったら家族や身近な人の無事を確認する



- 大きな災害が発生した場合は、地震火災の予防のため、ガスの元栓や電気のブレーカーを切ってから地域の集合場所に集合する

地域の集合場所とは…

大地震が発生した場合に、地域の皆さんが互いに協力し合って、災害対応を組織的に実施するために集合する場所をいい、町内会や自主防災部ごとに決められています。



- 地域の集合場所から避難所等へ移動する



- 自宅に被害がない場合 ⇒ 自宅へ
- 自宅に被害がある場合 ⇒ 避難所へ
- 大規模災害等により避難所への避難が危険な場合 ⇒ 広域避難場所へ

水害の場合

- 天気予報などで状況を見て、避難に備え自らの行動を確認する

水害は被害が発生する前からの行動が重要です。



- 高齢者など行動に時間を要する人から早めに避難する



- 建物内の高い場所へ避難する(垂直避難)
- 浸水の深さが建物の高さを超える場合や立ち退き避難が必要な区域については、指定緊急避難場所へ避難する(避難場所は避難勧告等の発令の際にお知らせします)

ハザードマップで、水害時に想定される浸水の深さや指定緊急避難場所などを日頃から確認しておきましょう。
ハザードマップは、区役所ウェブサイトに掲載し、区役所4階地域力推進室で配布しています。



地震と水害では避難方法が異なります。災害時の行動について確認し、もしものときに備えましょう。

京都市長 門川 大作

